

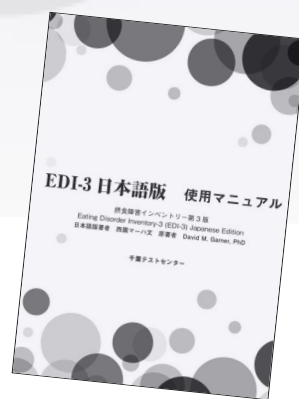


摂食障害に特有の心理状態とともに、
無力感、不安、自信のなさなどの
より一般的な心理を広く測定することができる質問紙

EDI-3 日本語版

摂食障害インベントリー 第3版

Eating Disorder Inventory-3



摂食障害 (eating disorder: ED) の症状を測定する質問紙はすでに多数存在しているが、多くは「やせ願望」「肥満恐怖」「過食の頻度」など、食行動やそれに直接関係した心理を測定するものが多い。これらは、治療する立場から症状の重症度を判断するには有用なため、さまざまな研究で用いられている。しかし、やせ願望が高いことを患者に伝えても、「それはわかっているが変えられない」という反応になり、治療には役立てにくい面がある。一方、自信のなさや対人不安、完全癖が強すぎるなど本人も困っていることが多く、治療の糸口となりうる。

Eating Disorder Inventory (EDI) と、その改訂版である EDI-2、EDI-3 は、やせ願望や身体不満足など摂食障害特有の心理とともに、より一般的な心理を広く測定できる点に大きな特徴がある。さまざまな感情がどの程度あるかを選択肢のなかから選択して回答するので、自分から表現できなくても感情の振り返りに活用でき、治療上有用である。(マニュアルより抜粋)

原著者：David M. Garner, PhD 日本語版著者：西園マーハ文

原版発行：Psychological Assessment Resources, Inc. 対象年齢：13歳～53歳

税込価格：使用マニュアル 4,950円・用紙セット (質問項目冊子・回答用紙・ヒストグラム 各10部) 4,950円

心理検査専門所 千葉テストセンター

〒167-0022 東京都杉並区下井草 4-20-18
TEL 03(3399)0194 FAX 03(3399)7082



・24時間受付・商品点数 800点
・お見積り / お問い合わせフォーム完備

妥当性・信頼性の最も高い心理検査
を日本全国にお届けしております。

EDI-3 日本語版の特徴

- ・ Eating Disorder Inventory-3 (EDI-3) は、摂食障害の研究で知られる心理学者 David M. Garner により開発された、摂食障害の症状を測定するための自己記入式質問紙です。
- ・ 摂食障害に特有の心理状態とともに、無力感、不安、自信のなさなどの、より一般的な心理を広く測定することができます。
- ・ 摂食障害に固有の「やせ願望」「過食」「身体不満足」の3つのサブスケールと、より一般的な心理である9つのサブスケールの合計12のサブスケール90項目から構成されています。
- ・ 質問紙は、質問項目冊子、回答用紙、ヒストグラムの3種から成ります。
- ・ 日本語版では、1回の実施で、EDI-3 と EDI-2 (サブスケール数11、項目数91) の両方のサブスケールを算出することが可能です。

EDI-3 日本語版サブスケール

① やせ願望	摂食障害の中心的な病理と考えられている心理。やせたいという極端な願望など
② 過食	コントロール不能の過食をしたり、過食することを考えたりする
③ 身体不満足	身体全体あるいは特定の部分に対する不満を測る
④ 低い自己評価	無力感や無価値感を測定する
⑤ 自己疎外感	空虚感、孤独感、自己理解の困難などを測定する
⑥ 対人不安	対人場面での不安や対人関係から引きこもる傾向を測定する
⑦ 対人疎外感	他者との距離感、関係性や信頼感の欠如を示す一方、関係性のなかで身動きできない状況
⑧ 内的気付きの欠如	自分の感情の気付きやそれに対応することの困難さを測る
⑨ 感情調節障害	感情不安定、衝動性、怒りや自己破壊性を測定する
⑩ 完全癖	摂食障害の発症や症状維持に強い関連がある心理的特徴
⑪ 禁欲	自己否定、自己犠牲や身体的衝動の抑制に価値をみる傾向
⑫ 成熟不安	思春期の課題に立ち向かえず子ども時代の安全感に戻りたい事例が多い

マニュアル目次

はじめに / I 背景 / II 摂食障害の診断と診断基準 ① 神経性やせ症 (anorexia nervosa : AN) ② 回避・制限性食物摂取症 (avoidant / restrictive food intake disorder : ARFID) ③ 神経性過食症 (bulimia nervosa : BN) ④ むちゃ食い症 (binge eating disorder : BED) / III EDI の開発と EDI-2、EDI-3 / IV EDI-3 日本語版の作成 / V EDI-3、EDI-2 の使い方 ① 実施方法 ② 採点方法 ③ 評価 / VI 事例 / VII 付録 ① 信頼性と妥当性 ② EDI-2 か EDI-3 / あとがき

日本語版著者 西園マーハ文 (にしぞのまーはあや)

明治学院大学心理学部教授、精神科医／医学博士、日本社会精神医学会理事、日本摂食障害学会理事、日本摂食障害協会理事。1985年九州大学医学部卒業後、慶應義塾大学医学部病院精神科にて研修。1986～1987年、英国エジンバラ大学卒業後研修。1992年、慶應義塾大学大学院博士課程修了。慶應義塾大学医学部助手を経て、1998年より東京都精神医学総合研究所勤務。2008～2009年、英国 King' s College London, Institute of Psychiatry 客員研究員、2013年、白梅学園大学子ども学部教授、2019年より現職。